

## 【幼保小連携通信】

保育課・学校教育課  
幼保小連携担当

# 夢に向かって挑戦する子ども

令和6年度

11月15日 No.15

どんなことを  
したらいいの？



どんなことを  
しているの？

## 陽光台小学校・学区内連携園の取組を紹介します♪

これまで、子どもたちの交流を行っていた陽光台小学校・学区内連携園。架け橋期のカリキュラム作成に向け、幼保小連携推進計画を立てよう、途切れることのないよう、仕組みを定着・継続させるための組織づくりをしよう、今年度から新たに取り組み始めました。

### 【7月 協議】

6月の幼保小連携研修での協議の続きを行いました。架け橋期を通じて、どのような子どもを育てたいかを伝え合い、テーマを決めました。「係活動？園でもやってみよう！」「授業の様子も見たいし、園も見してほしいです。」「子どもたちが授業を見ることもできますか？」「園でも、子どもたちが考えて決めていく活動をしているのですね。」「じゃあ、園ではこれをやった方が良さそうですね。」「ということは、1年生もっとできますね。」お互いの子どもたちの様子や取組を共有し、園・校それぞれがこれから何を意識し、どのように取り組んでいくのか、どのような連携を進めていくのか考えました。

良いですね！やりましょう！と、子どもの姿を想像し、語り、連携推進について考える先生方は、みんな笑顔でとても楽しそうです。こういった職員同士の関わりや雰囲気、さらに連携を深め、子どもたちの架け橋期の充実につながっていきますね。



架け橋期のカリキュラム  
作成シートを使いながら

### 【8月 保育体験】

7月の協議で話題にあがった保育体験。早速、1学年担任が園へ体験に行ったようです。「園児ってこんなにできるんだ。」「園での生活や学びを実際に見たことで、学校で何にどう取り組んだらよいかがよく分かった。」「見に行くことができて本当に良かった！」と話していました。保育体験が新たな気付きを生み、園とのつながりをさらに意識するきっかけになったようです。

### 【10月 交流会】

「来た来た！」「うわあ！可愛い！」「ドキドキする…」園児が向かってくる様子を体育館からのぞいたり、再会を喜び合ったり、優しく声をかけたり…園児のために内容を考え、準備してきた1年生の思いが、姿として見えた交流会となりました。

実施後、すぐに振り返りの時間をもつことが理想ですが、実際にはなかなかそうはいかないのが現実です。先生方は後日、時間をつくって集まり、振り返りを行ったとのこと。交流会前後の子どもたちの姿も共有することで、次の連携に向けた改善策、新たなアイデアが出てきそうですね。

